

令和2年7月13日

## 早期 稲作情報 第3号

J A む な か た  
北筑前普及指導センター

6月1日から6月30日までの1か月の気象は、平年と比べ平均気温は2.6℃低く、降水量は102%とやや多く、日照時間は132%と多く経過しました。現在、早期水稲は穂ばらみ期です。葉色はやや淡く、葉は直立しており、生育は良好ですが、一部の圃場ではジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)の被害により、茎数が少なくなっています。

予想される出穂期は去年並みの7月20日前後と思われます。

### 1. 水管理

出穂～開花期での水不足は、登熟不良を起こしやすいので、浅水管理を行いましょ

う。台風が襲来する場合、深水にして茎葉の揺れを少なくします。台風通過後は、水分吸収が盛んになるため、数日間は田に水が切れないようにしてください。

早期落水は登熟不良・品質低下を招きます。収穫1週間前までは間断かん水を続けてください。

### 2. 病虫害防除

セジロウンカ(夏ウンカ)、コブノメイガが例年より多く確認されています。

早期水稲ではこれらの害虫を対象とした防除は現在のところの必要はありませんが、今後の発生に注意してください。

早期水稲の畦畔には、右の画像のように、エノコログサ等イネ科雑草が出穂し繁茂しており、斑点米カメムシ類の増殖源になっています。このまま放置すれば、出穂した早期水稲に移動するので、早急に草刈を行いましょ



【写真】エノコログサ

う。右上の表を参考に穂いもち、紋枯病及び斑点米カメムシ対策のため、出穂期前後の防除を徹底しましょ

う。特に近年収穫期に紋枯病が多発しています。今後の気温の予想は高くなる見込みになっており、前年多発した圃場では菌が残っている可能性が高いので注意が必要です。

また、梅雨入り以降気温が下がり、一部で葉いもちが発生しています。圃場を巡回し発生を確認したら早急に防除を行いましょ

### 《出穂期防除》

薬剤名	散布量	防除時期	対象病害虫
ダブルカットバリダ トレボン3DL 粉剤	3～4kg/10a	穂揃い期まで	いもち病、紋枯病 カメムシ類、ウンカ類
ダブルカットバリダ フロアブル	1000 倍	穂揃い期まで	いもち病、紋枯病
キラップジョーカー フロアブル	1000 倍	収穫 14 日前まで	ウンカ類、カメムシ コブノメイガ
ゴウケツモンスター 粒剤	3kg/10a	出穂5日前まで 収穫 45 日前まで	いもち病、紋枯病 稲こうじ病 ウンカ類、カメムシ

### 《穂揃い期防除》

薬剤名	散布量	防除時期	対象病害虫
キラップ粉剤 DL	3～4kg/10a	穂揃い期～乳熟期 (収穫 14 日前まで)	カメムシ類 ウンカ類
キラップフロアブル	2000 倍		
キラップ粒剤	3kg/10a		
スタークル粉剤 DL	3kg/10a	穂揃い期～乳熟期 (収穫 7 日前まで)	
スタークル液剤	1000 倍		
スタークル豆つぶ	250g/10a		

※液剤は散布後一旦乾けば降雨にあたってもかけ直しの必要がないが、粉剤は散布後殺菌剤で 6 時間、殺虫剤で 3 時間以内に降雨があった場合は、かけ直した方が効果は安定する。

※ミツバチへの危害防止のため、スタークル剤（粉剤・液剤）を稲の開花期に散布することは避けてください。

#### ★農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 水田では止水期間（1 週間程度）を遵守
- ④ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄
- ⑤ 防除履歴の正確な記帳

